

抗 DNA ポリメラーゼ β 抗体、ウサギポリクローナル、アフィニティー精製

70-041 50 ug

保存温度: 室温または 4°C で送付、-20°C で保存

反応性: ヒト、ラット、マウス、ハムスター

免疫原: 組換えラット DNA ポリメラーゼベータ、全長

用途

- 1) ウェスタンブロット法 (1/1,000 ~ 1/3,000)
- 2) 免疫沈降 (1/100)
- 3) 免疫蛍光染色 (1/1,000)
- 4) ELISA (アッセイ依存)

性状: 1 mg/ml in PBS, 50% グリセロール。フィルター滅菌。アジド及びキャリアーは添加していない。

純度: 免疫原でアフィニティー精製した。

Background: DNA ポリメラーゼ β は修飾塩基 (脱アミノ化、酸化、メチル化された塩基) を切除することによって DNA に損傷を受けた塩基を除去修復に関与するポリメラーゼである。

N 末端側は一本鎖 DNA 結合およびデオキシリボースホスホジエステラーゼ活性をもち、C 末端の側はヌクレオチルトランスフェラーゼの活性を示す。本酵素は成長中の細胞に存在するが、発現レベルはさらに MNNG および MMS のようなアルキル化剤処理によって上昇する。

データリンク: UniProtKB/Swiss-Prot [P06766](#) (DPOLB_RAT), [P06746](#) (DPOLB_HUMAN), [Q8K409](#) (DPOLB_MOUSE)

引用文献: 無

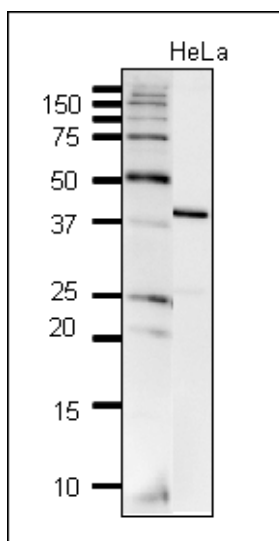


図 1 ウェスタンブロット法による HeLa 細胞粗抽出液中の DNA ポリメラーゼ β の検出。
抗体は、1/1,000 の希釈で使用された。細胞抽出液 10 ug を用いた。

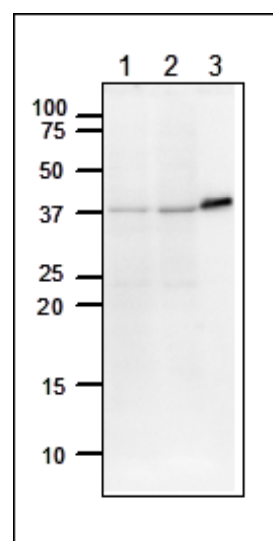


図 2 ウェスタンブロット法による DNA ポリメラーゼ β の検出。
1. NIH 3T3 細胞 (20 ug)
2. CHO 細胞 (20 ug)
3. フルサイズ組換え DNA ポリメラーゼ β (5.2 ng)
抗体は 1/1,000 希釈で使用された

抗-DNA ポリメラーゼβ抗体

DAPI

Merge

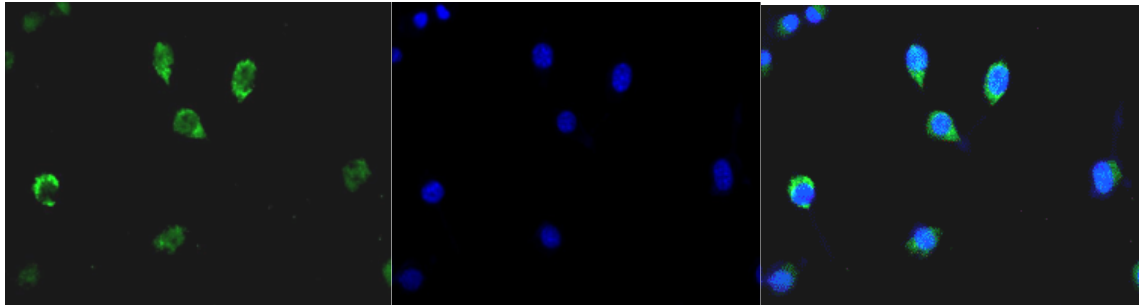


図3 抗DNAポリメラーゼβ抗体を使ったNIH 3T3細胞でのDNAポリメラーゼβの免疫蛍光染色。

4%PFAで細胞を固定し、0.25%Triton X-100で透過処理した。抗DNAポリメラーゼβ抗体は、1/1,000の希釈で使用した（左）。核DNA(中)はDAPIで染色し、免疫染色と重ね合せたイメージは右に示した。

関連の製品：[#10-101](#) DNAポリメラーゼβ（ラット）、高活性の組換え酵素